

・ AALA ニュース 110 号 ウクライナ特集号 第 11 弾

内容紹介

引き続きウクライナ特集です。今回はウクライナ関連記事 6 本とイエメン関連記事が 1 本です。

1. 吉原功「ウクライナ 日本メディアは何を見ていないか」

原題は「ロシアのウクライナ侵攻 日本メディアは何を見ていないか」です。「放送レポート」(大月書店) 297 号に掲載されたものを、著者のご承諾を得て転載しています。

吉原さんは、明治学院大学社会学部名誉教授で、同大学国際平和研究所の客員研究員を兼任されています。日本ジャーナリスト会議(JCJ)代表委員で、日本 AALA 国際部員としてもご協力いただいています。

2. Current Affairs「ウクライナ戦争を終らせる方法(1)」

ネット雑誌 Current Affairs に掲載されたインタビュー記事です。原題は How the War in Ukraine Can Be Ended となっています。

Anatol Lieven は英国人政治ジャーナリストで、長年ロシアで現地取材をしてきた人です。

3. 安斎育郎「ウクライナ問題について」 その 2

前号の続きです。

安斎さんはウィキペディアで次のように紹介されています。

日本の医療工学者・物理学者・軍事学者・平和学研究者。工学博士。立命館大学特命教授・名誉教授、立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長。専門は、放射線防護学、平和学。

4. 山崎洋「セルビアからみたウクライナ戦争」

山崎さんは、ベオグラードに在住する翻訳家、ユーゴスラビア研究者です。ご尊父はユーゴスラビアのジャーナリストであるヴケリッチさん。筆者の了解を得て、田中代表理事の紹介で掲載させていただきました。

5. 海老坂武「ウクライナの戦争に思うこと」

海老坂さんは、フランス文学者・評論家。サルトル、フランツ・ファノンなどの研究者です。昭和九年生まれで戦争体験に基づいた鋭い指摘がされています。アフリカ研究者の福田邦夫さん（明大）から中南米研究者の新藤さんを経て紹介があり、掲載します。

6. 「インドネシアはなぜ非同盟を選択するのか」

シンガポールで6月10～13日に開催された第19回アジア安全保障会議における、インドネシアのプラボウォ国防相の発言全文です。

7. Jacobin「朗報！イエメンが停戦に入る」

最近のネット誌「Jacobin」に掲載された記事です。

原題は The Cease-Fire in Yemen Is Unambiguously Good News です。

併せてイエメン紛争の経過、原因などについても簡潔に触れています。